

殿山第二小だより

令和 4年 9月2日 第16号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

「もしも」の時に備えて その3

9月に入り朝夕は、秋の気配を感じるようになりました。ご家族の皆様体調にはお変わりございませんか。

さて、昨日9月1日は「防災の日」、そして本日2日は「大阪880万人訓練日」でした。いつ起こるかもしれない自然災害に対して、自らの身（命）・家族の命を守るため、日頃より「もしもの時に備えておく」ことは大切なことと思います。下記の内容等を、学年・学級の実態に応じて担任教師より子どもたちに話をし、一人ひとりが「考える」時間を持ちました。

9月1日は、「防災の日」と言われています。今からおよそ60年前の1960年に制定されました。そして、今年度は、8月30日（火）から9月5日（月）までの1週間の期間を「防災週間」と定められています。

9月1日が「防災の日」となったのには、二つの理由があります。

一つは、1923年（大正12年）、9月1日、今から約100年前になりますが、東京（関東地方）が、大きな地震（推定でマグニチュード7.9）に襲われました。「関東大震災」と名付けられています。ちょうどお昼時に起こり、昼食の支度をしていたこともあり、木造家屋は軒並み崩れ、火災が発生し、関東地方一帯が焼け野原になってしまいました。亡くなった方も推定10万5千人もおられたそうです。枚方市の人口が約40万人とするとその亡くなられた数の多さがわかります。とても恐ろしいことです。

もう一つの理由は、特に昭和の時代から平成の時代、9月・10月は、台風被害がとても多く、毎回、大きな被害を受けていました。特に1959年に発生した「伊勢湾台風」は、明治時代以降発生した台風の中でも最も多い犠牲者を出した台風で、その要因は、高潮の発生と堤防が崩壊したことが考えられるということで、防災対策を見直すきっかけになりました。このようなことから、翌年に防災対策を進めていくことをみんなが意識するようにと「防災の日」が制定されました。

大阪府主催 大阪880万人訓練は、今年が第11回目となります。（中止となった年度もあります。）

3年目となるコロナ禍や地震、台風、大雨、局地的集中豪雨、洪水、雷雨、土砂災害、熱波等、今や日本各地で過去に経験したことがないような様々な自然災害が、突如として襲ってくるようになってきました。

想像を超えた災害が起こり得るということを認識し、我がこととして“考える”ことが必要です。正しい情報の取得、避難の判断・決断・実行、家族との連絡、水や食料等の備蓄（目安：家族の人数×最低3日分）等々、この機会に、自分にできることを先生や友だちと、そして、ご家族と一緒に考える機会にしたいと思います。先行きが見通せない、誰もが不安な気持ちになってしまいます。しかし、人は一人だけで生きているわけではありません。人と人とのつながりをより一層大事にしていきながら、「自助」「共助」の精神を忘れず、子どもたちが日々の生活を過ごすことができるようにしていきたいと考えています。『備えあれば憂いなし』

ホームページ・ブログが更新されました。

下記のアドレス、右記のQRコードより、ご覧になってください。

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2710048>

